



移住者名	宮本 真理
都道府県	沖縄県 粟国村
移住先	埼玉県⇒沖縄県 粟国村
移住年	2016年
職業	医療事務⇒地域おこし協力隊
家族構成	単身
移住形態	1ターン

Q. 移住したきっかけは？

もともと離島が大好きで、沖縄の有人離島をほぼ制覇した私が「ここに住みたい!!」と強く思ったのが粟国島でした。

その願望が実現に変わったきっかけは、ある島人との出会いです。2013年に観光で粟国島を訪れた際、「今月アイランダーに出展するから遊びに来てね」と誘われ、そこで再会を果たし、その後もご縁が繋がって、地域おこし協力隊募集の情報をいただきました。その時、今沖縄に行かないと絶対に後悔する!と思い、仕事を辞める根回しをして応募。そして今年の春に移住しました。

粟国島の良さは何と言ってもそのサイズ感!ほどよい大きさの島だからこそ、みんなの顔が見え、地域を徒歩でも回れます。コンパクトでありながらも、その中に様々な風景や魅力がギュッと詰まっっていて、今でも飽きません。地域課題もたくさんありますが、のびしろがあるこの島に貢献したい!ここで頑張りたい!と思っています。

Q. 移住の際不安に思ったことは？

まず、学生時代以来の一人暮らしが心配でした。そして沖縄の離島ということで、大物家電の配送をことごとく断られました。人口700人ちょっとの島で、買い物ができる商店は3つほど。生活に必要なものをどうやって揃えたらいいか、行ってから足りないものが出てきたらどうしようかと不安でいっぱいでした。結局のところ、手を尽くして準備をして、ダメならその時また考えようと割り切って、リストを作り、地元で買い出しを済ませ、軽自動車ごと粟国島へ乗り込みました。その後、足りないものは家族に頼んで送ってもらったり、出張で那覇へ出た際に購入したり、あるいは通販を活用しながら楽しく暮らしています。強みは、以前の観光と地域おこしの面接で島に知り合いができたこと。電話やLINEで質問しながら準備を進めることができました。移住前に現地の知り合いができると非常に心強いです。

Q. 移住して良かったことは？

ありあまるほどの自然がすぐそばにあること、五感で季節の移り変わりを存分に感じられることです。これまでは空もほんのちょっとしか見えないようなところで生活していたため、「気が付いたら冬になっていた」といった感じでした。今では、つきさすような太陽を存分に浴び、雨の匂いや風の心地良さを感じながら、沖縄離島ライフを満喫しています。いつでもほぼ貸し切り状態のビーチにレジ袋ひとつで行けるのは本当に幸せです。また、どこへ行くにも車で数分、通勤も自転車で数分で済み、以前よりもゆとりのある生活を送れています。時間を有効に使えるので、日が長い夏場は、仕事の後に海に行くことも可能です。島の友達もみんな徒歩圏(遠くても車で数分)に住んでいるので、気軽に集合でき、これまで寂しいと思ったことは一度もありません。都市部と違って人と人との距離が近く、おじいおばあから小学生まで幅広い年代と知り合いになれました。



Q. 移住を考えている方へメッセージ

やはり「予習」が必要だと思います。私が心配性なだけかもしれませんが、「思っていたのと違う」というのは挫折に繋がりがやすく、移住者にとっても島人にとってもマイナスです。みんな親切にしてくれるので、だいたいのかはどうかになりますが、その移住先に対する「情熱」も必要です。サポートはしてくれても、溶け込む姿勢や島暮らしを継続する努力は本人次第です。自分がそこでどうなりたいのか、そのために必要なことは何か、ということをお忘れないようにしたらいいかなと思います。

それと、ほどよく諦め、割り切ることも大切です。気候や文化、考え方が違ったり、不便なことも多々ありますが、時にはこれまで通りの趣味を楽しむなど、自分の時間も確保しています。ただ、ポツンと浮かぶ鳥獣保護区の離島ゆえ、今でも鳥や虫、ヤモリに苦戦しています。そのあたりはある程度の対策が必要です（未だにキャーキャー言いながら生活しています）。